

第二分科会
若者に対する日本語学習支援の現状と課題

社会参加につながる日本語学習の実践
～新聞切り抜き学習や日本語学習教材作成～

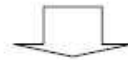
NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ
多文化学習活動センター(CEMLA)
日本語指導担当 中原 岩夫

CEMLA 日本語教室の紹介



<教室参加までの流れ>

相談の予約



面談（聞きとり）



フレージメントテスト



入門

あいさつ・ひらがな・カタカナ
ナ・数字・時間・月日・曜日
…

初級1

名詞文・こそあど・動詞
文・形容詞文・存在・比
較・授受・て形…

初級2

可能形・自動詞・他動詞・
意向形・条件文・受身・使
役・敬語…

中級

「自立と社会参加のための
日本語」

中上級

多文化共生を考えるワーケシ
ョップ・新聞記事の読解

自立と社会参加のための日本語

教室運営



学習支援

ボランティア

相模女子大学大学生(日本語教育を履修)、桜美林大学大学生(教員免許取得中)、その他の大学生、大学院生、社会人

学習支援
学習プログラム作成
教材準備

スタッフ

日本語講師・NPO スタッフ、
(外国につながる社会人、大学生、教員)

企画・実施

交流会(年2回)
ゲーム、グループワーク、軽食

ボランティア研修(全10回)
教材作成

企画・実施

研修(日本語教育における基礎知識、指導法、学習終了後のフィードバック)

【一日の流れ】

- 9:45 全体朝礼(スタッフ&ボランティア)
グループごとに打ち合わせ
- 10:00 学習開始
- 12:00 学習終了 学習記録記入
グループごとに終礼
(フィードバック)

【学習について】

個別指導: 原則として、学習者1名に対しボランティア1名でのマンツーマン指導。

→ 学習者の発話を促しやすい、学習者のベースに合わせることができる。

グループ制: 入門～中上級までの5グループ。各グループ日本語講師1名、ボランティア5～6名、学習者5～6名で構成。学習者とボランティアのマッチングはグループ内で行う。

→ 学習者・スタッフ・ボランティアの間で関係性ができる。フォローや情報共有がしやすい。

個別対応: 個々の日本語レベル・背景に合わせて自主制作プリントを使用。学習内容は「学習項目表」で可視化し、個人ファイルで管理。→ さまざまな学習者に対応することができる。

CEMLA日本語教室の様子



中上級クラスの「新聞の切り抜き学習」

対象は・・・



国際社会で「架け橋」的な仕事で活躍してほしい外国につながる若者

学習のねらい



日本語で自分の考えを発信できる力を養う

自分自身と社会のかかわりを意識することの中から、進路を考える力を養う。

自分と違う意見を尊重し、共に生きていく力を養う。

学習の方法

- ア ワークシートを用いて、新聞切り抜きへの導入(動機付け)を行う。
- イ 紙面の構成などの説明をして、声を出して切り抜きを輪読する。
- ウ 学習者が知っている漢字や語句の意味に重ね合わせながら、言葉のネットワークを広げる。
- エ 語句の意味を文脈に即して理解する。
- オ 三段落構成に注目して、話題、展開(具体例)、意見と文章を理解する。
- カ 学習者の切り抜きに対する意見や感想を述べる。
- キ 学習者本人が学んだ内容や課題、疑問点を述べる。
(ク 自分の意見を書く。)

取り上げた主な新聞記事

若い世代の声

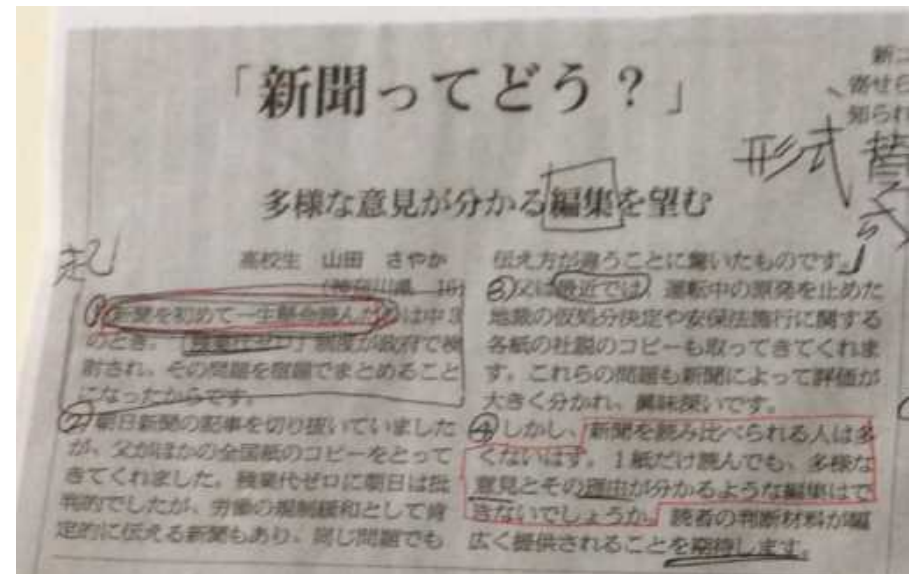
「新聞ってどう？」
「奨学金をめぐる」
「勉強って」

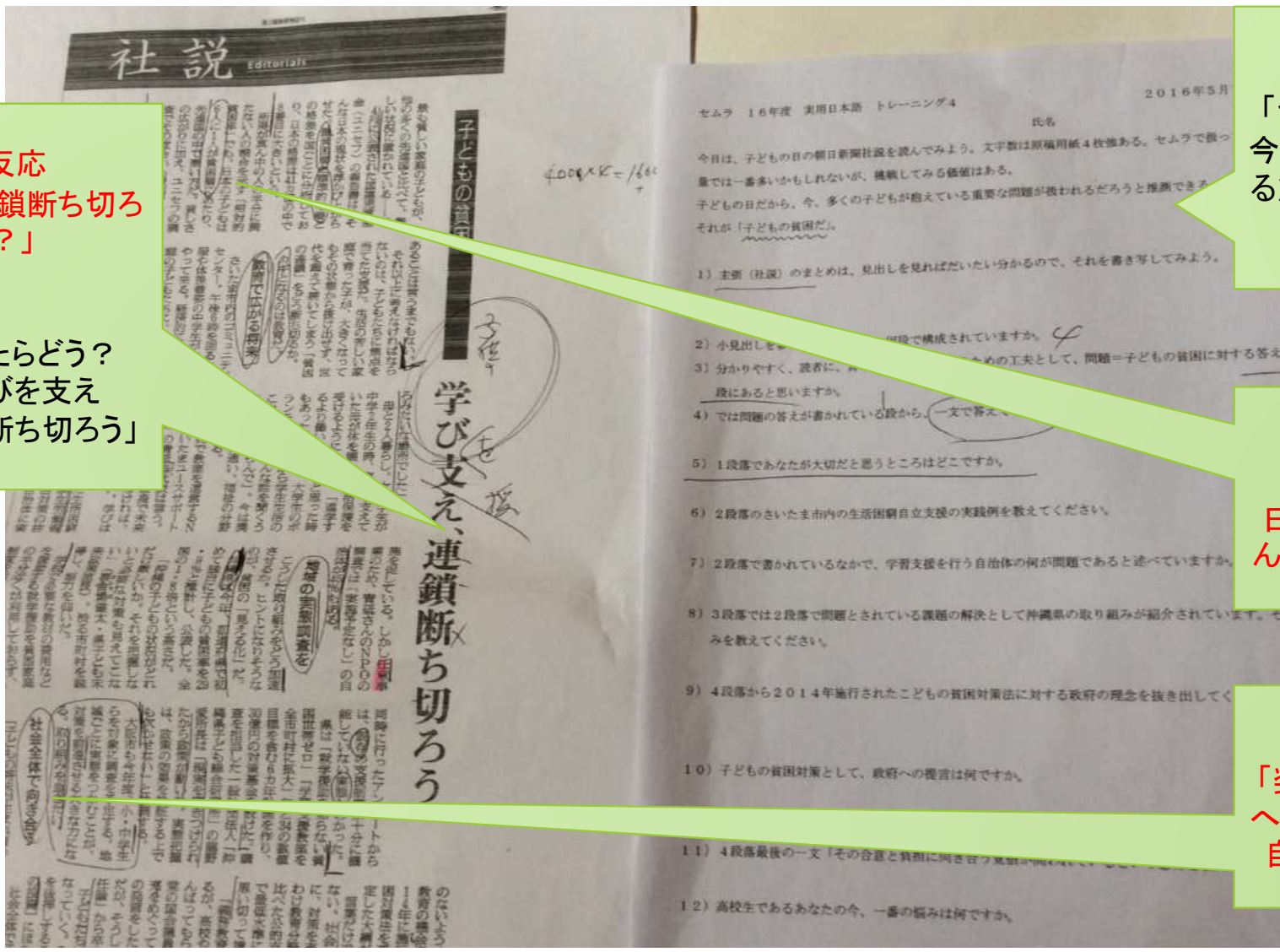
特集記事・コラム

「EU離脱」
「角栄とムヒカ」
「トランプ氏の脅威」

社説

「子どもの貧困」
「燃費データ不正」
「原発エネルギー政策」





生徒の反応
「学び支え？連鎖断ち切ろう??？」

先生
「言葉を補ったらどう？
子どもの学びを支え
貧困の連鎖を断ち切ろう」

先生からの投げかけ
「今日は子どもの日だから
今、多くの子どもが抱えている
重要な問題が扱われているね。それは？」

生徒の反応
「6人に1人が貧困
日本にもそんなことがある
んだ。自分の国ではね・・・」

生徒の反応
「奨学金制度の拡充、未来
への投資、とても共感する。
自分も大学で学びたい。」

新聞の切り抜き学習の効果

- ・社会的な課題に対して、自分のことに照らして共感したり、意識して意見を述べたりするようになった。
- ・社会的な課題に関する言葉を知ろうとする態度ができた。
- ・日本語表現を選ぶようになった。
- ・進路に対する考え方がしっかりしてきた。
- ・自分の意見を一方的に話していたのが、相手の意見を聞いて自分の意見を述べるようになった。
- ・自分の置かれている環境を客観視できるようになった。

日本語学習教材の作成

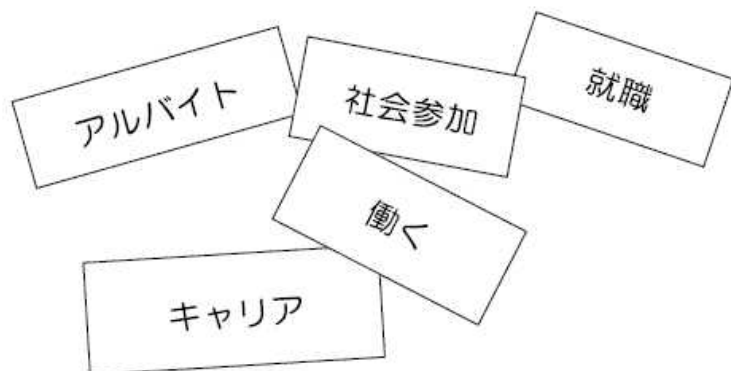
平成27年度文化庁

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語教育実践プログラム(A)

定住する外国につながる若者への日本語教育支援事業

定住する外国につながる若者の社会参加（就労）のための日本語学習教材

NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ



著：CEMLA スタッフ

(蔡金燕・佐屋麻利子・高橋清樹・武一美・中原岩夫・藤井美香・山口静香)

定住する外国につながる若者の社会参加（就労）のための日本語学習教材

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

第1部 アルバイト・就職について知る

1. アルバイトをする・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3

2. 高校を卒業して就職する・・・・・・・・ P 13

3. 大学を卒業して就職する・・・・・・・・ P 27

4. 仕事をやめる前に／再就職する・・・・・・・・ P 37

5. ネットからの情報の使い方・・・・・・・・ P 50

第2部 読んでみよう！ やってみよう！

1. すごろくをやってみよう！（使い方）・・・・ P 56

2. 電話をかける・・・・・・・・ P 57

3. 履歴書を書く・・・・・・・・ P 65

4. 面接を受ける・・・・・・・・ P 74

第3部 支援するときのヒント

1. 「働くって何だろう」の活動紹介・・・・ P 81

2. キャリアにつなげる読解授業の実践報告・・・・ P 83

3. 生徒の「今」を知るためのチェックシート・・・・ P 87

付録：すごろく

★ [アルバイトの許可—自分のビザ(在留資格)の確認をしよう。]

「家族滞在」や「留学」などのビザは、アルバイトをするために、許可を申請しなければなりません。在留カードの真ん中に「就労不可」とあるときは、入国管理局(イミグレーション)に行って「資格外活動許可」を申請してください。1週間28時間以内のアルバイトができるようになります。

28時間の労働時間は必ず守ってください。28時間以上働くと、その後ビザを「永住者」などに変更したいときに、マイナスポイントになります。その結果、「永住者」などに、変更ができなくなりますから、注意してください。

お金がもらえなかったら、どうする？

アルバイトの賃金は毎月1回必ず支払われます。1か月に1回もらえない場合は法律に違反しています。学校の先生や周りの大人に相談しよう。

4. 仕事をやめる前に／再就職する

(1) 読んでみようーある人のケース

Aさん 建設会社 正社員 20代男性

知人の紹介からそのまま、面接もなく入社しました。最初の1か月は普通に働いていました。

しかし仕事に慣れてくると残業が多くなり、帰れなくなりました。毎日9時から24時ごろまで

仕事をしています。最近では3時まで働くこともあり、睡眠不足です。残業代はほとんどもらえま

せん。今年では会社の業績が悪く、ボーナスもありませんでした。休日も月に2、3日しかありま

せん。「〇〇までに終わらないといけないから、明日出てきてやってくれるよね？」と上司にいわ

れると、まだ新人の私は断ることができません。先日、先輩が体調を崩して入院しました。そ

うしたら上司が病院に来て「体調管理をしっかりしないとだめだ」と怒ったそうです。

その話を聞いて、会社をやめることを決めました。

1. Aさんの話を読んで、変だと思うところがありますか。

CEMLAでの日本語学習の今後の課題

- ・こうした実践を通して、学習者自身が「自ら学ぶ力」をつけていけるようになることが目標である。
- ・CEMLAの役割として、外国につながる若者が社会参加を果たすまで見守り、必要な時にサポートできる場として、関わりたい。
- ・「**「**实用日本語トレーニング」などの学習プログラムを定着化させ、対象となる若者が積極的に参加したくなるような成果を上げていきたい。